

大学構内での体調不良者・傷病者発生時の対応



学内AED設置場所
(保健管理センターHP)



鳥取大学救急対応フローチャート

周囲の安全確認

安全が確保できない / 自らも危険となる可能性

自らの安全を守る行動を取る

110番

安全 / 安全が確保

意識

ない
(返事がない)

明瞭
(症状の説明が可能)

症状・状態が
・歩けない
・持続するめまい
・骨折
・眼の怪我、異物や
化学薬品の混入
・持続又は繰り返す
胸部不快感や胸痛
・短期間に繰り返す
腹痛・嘔吐・下痢
など

いずれにも該当しない
かつ 歩ける

保健管理センターに来所して下さい

119番:学内電話からの発信は、0119
保健管理センター:
鳥取地区:0857-31-5065
米子地区:0859-38-6495

呼吸

ない
(確認不可)

問題ない
(規則正しい)

よくわからない
または
判断出来ない

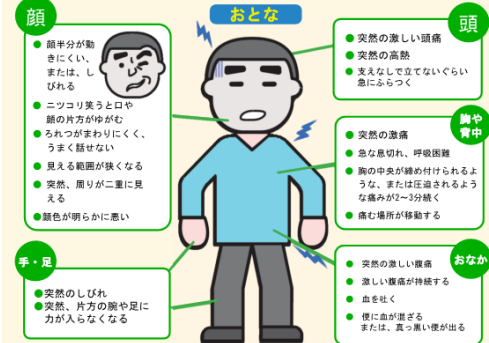
直ちに
医療機関を受診

状況に応じ、
保健管理セン
ターに応援を
依頼

119番

周囲の人に協力を求める
AEDを準備・使用
(AED設置場所は学生案
内にも掲載されています)

重大な病気やけがの可能性がります!



- 意識の障害**
 - 意識がない(返事がない)またはおかし(もうろうとしている)
 - ぐったりしている
- けいれん**
 - けいれんが止まらない
 - けいれんが止まっても、意識がもどらない
- けが・やけど**
 - 大量の出血を伴うけが
 - 広範囲のやけど
- 吐き気**
 - 冷や汗を伴うような強い吐き気
- 飲み込み**
 - 物をのどにつまらせて、呼吸が難しい、意識がない
- 事故**
 - 交通事故にあった(強い衝撃を受けた)
 - 水におぼれている
 - 高いところから落ちた

いずれかに該当

引用:ためらわず救急車を呼んでほしい症状
出典:救急車を上手に使いましょう(消防庁 令和7年10月発行)
消防庁HP:https://www.fdma.go.jp/publication/portal/post2.html

鳥取地区では、警備員室(0857-31-6757)に、救急車を要請したことと、発生場所を連絡してください。

車いす・担架の使用について

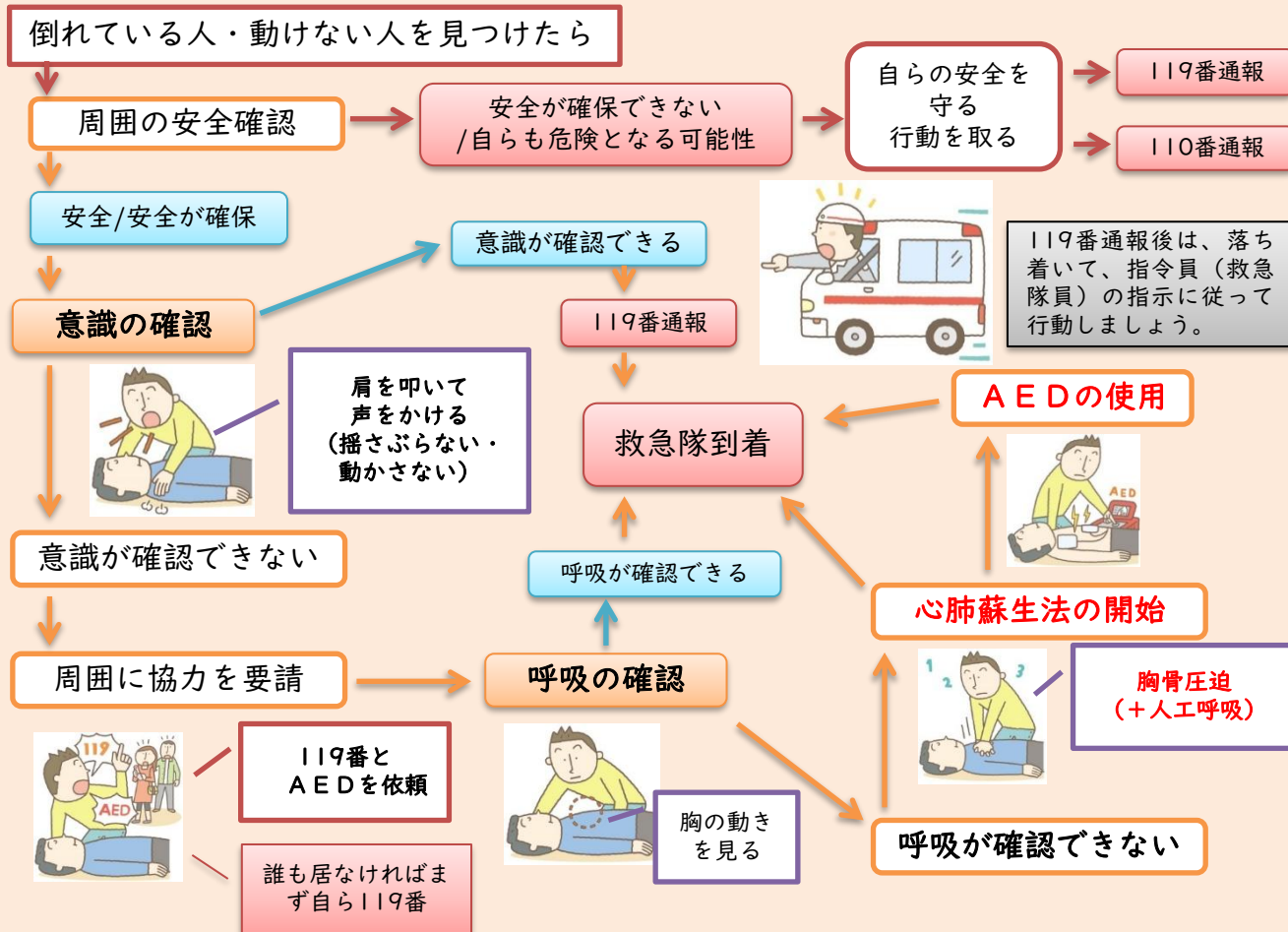
・車いす
意識が明瞭で、傷病者の了解が得られた場合にのみ、短距離の移動に限って使用。

・担架
使用しないでください。

いずれも、使用により、病状悪化の危険があります。

119番に通報をすると、
・まず、“火事ですか?救急ですか?”と問われます。
“救急です”と伝えましょう。
・以下、指令員(救急隊員)が必要な事を順番に尋ねます。
落ち着いて、解る範囲で正確に情報を伝えましょう。
・救急隊到着までは、指示に従いましょう。
・その場で、救急隊到着を待ちましょう。
・可能な範囲で、安静安楽な姿勢を保てるよう努めましょう。
・必要に応じ、タオルケット・保温シート等を使用しましょう。
・状況に応じ、119番通報後、保健管理センターに連絡してください。
医師・看護師が救急隊到着まで可能な範囲の手当・観察を行います。
以下を必ず伝えてください(①③は、解る範囲で)
① 氏名・性別、学生番号(職員の場合は所属部署)
② 場所
③ 症状/状態、経過

心肺蘇生法（胸骨圧迫とAEDの使用）



胸骨圧迫を開始

- ・強く（約5cmの深さ）
- ・早く（100～120回/分）
- ・絶え間なく

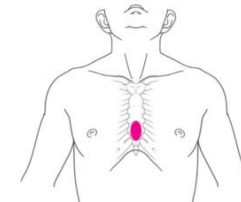


図11 胸骨圧迫をする場所

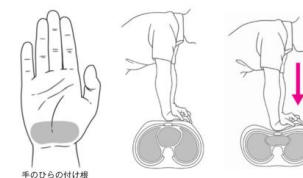


図12 胸骨圧迫の方法

引用：胸骨圧迫を行う（胸骨圧迫をする場所・胸骨圧迫の方法）
出典：改訂6版救急蘇生法の指針2020市民用 監修：日本救急医療財団心肺蘇生法委員会（へるす出版 2021年9月発行）

AEDの使用

- ・AEDの電源を入れる
- ・電極パッドを肌に貼る
- ・AED音声の指示に従う